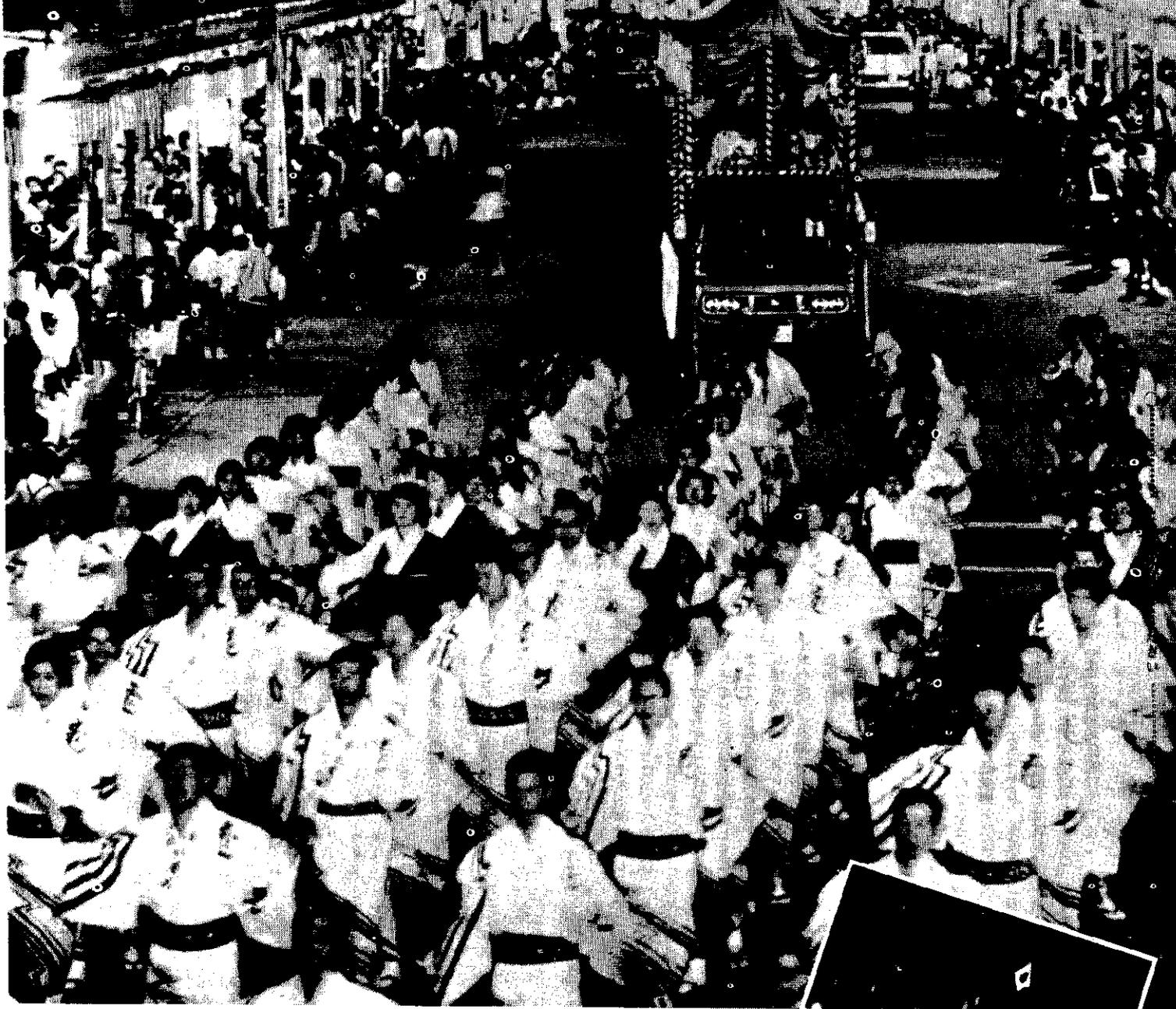


市報

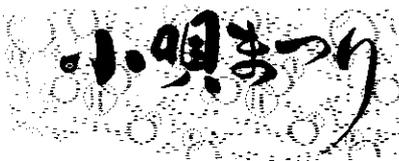
とおがまち

編集発行

〒990-0001 秋田県秋田市



2,000人の民踊流し……



恒例の小唄まつりは6月5日・6日市制施行20周年を記念して盛大に催されました。

両日は民踊流し、仮装行列、花火大会など、もりだくさんの行事が繰りひろげられたほか、巨専連北陸大会関係者の市中パレードも行なわれ、市民はおまつり気分を満喫しました。

(上) 市長を先頭に2,000人の民踊流し

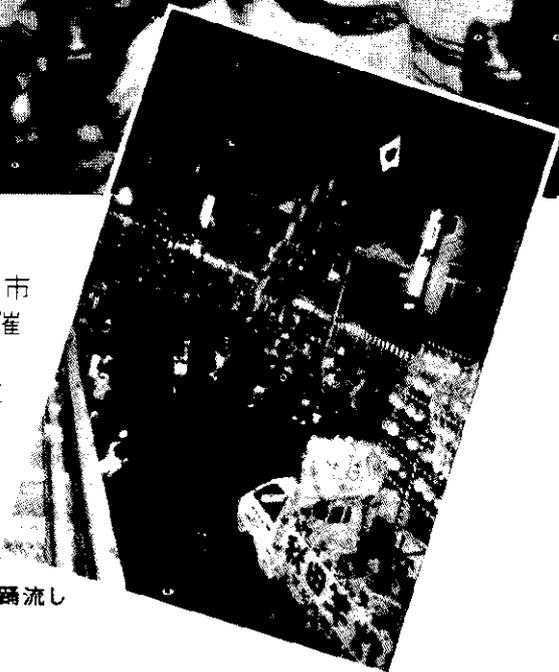
(下) 秋田の^あ竿^の灯^も参加

6/10
June

□212号□

※お忘れなく……6月は市民税と国民健康保険料の納期です。

■市勢 / 人口…50,261人(男24,321人・女25,940人) / 世帯数…11,354 / 面積…211.44Km² (5月1日現在)



魅力ある農村づくり



農振地域整備計画が決定

「農業振興地域整備計画」が五月十三日付でましまりました。本市は昭和四十八年度に「農業振興地域」の指定をうけ、その後、農業振興地域整備計画をつくるための作業をすすめてきました。

練引きについては、農家の人達の意見を十分反映させるため市内各地区で話し合いを行ない、さらに十日町市農業振興地域整備促進協議会に諮問、答申を得ましたが、このほど県知事との協議がととのったものです。

この計画は、十日町市の農業が今後すすむべき道を明らかにし、そのなかから有効な対策をたてていこうというものです。

その骨子となるのは、農用地利用計画、生産基盤の整備開発計画、農地権利取得の円滑化計画、農業近代化施設整備計画の四本柱、からなっています。

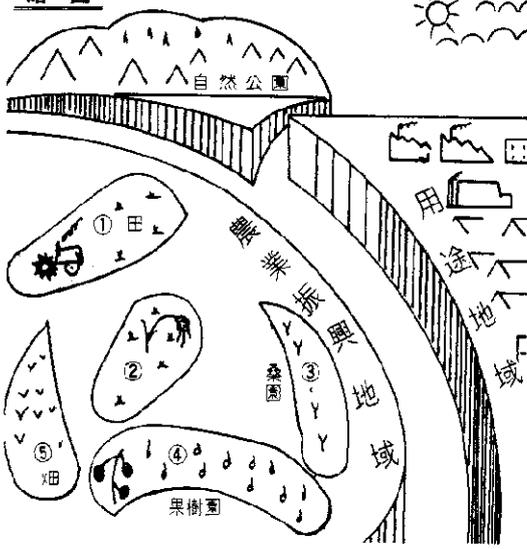
このうち、みなさんに最も関係のある農用地利用計画等について述べることにします。

安心して農業を営むために

当市でも市街化の拡大が進みこの市街化の波は田んぼや畑をおしつぶしかねない状態になっています。土地のスプロール化や虫くい現象をさけて正しい農業の発展をはかるというこの

ろみからこの農業振興地域整備

略図



農用地区域(田、畑、樹園地、採草放牧地)の指定状況

区分	田				畑			樹園地			採草放牧地			計		
	現況	目標	増減	現況	目標	増減	現況	目標	増減	現況	目標	増減	現況	目標	増減	
A地区(南田原野)	883.62	886.72	3.10	129.24	129.24	-	28.48	28.48	-	-	-	-	1,041.34	1,044.44	3.10	
B地区(中島下郷)	867.56	873.10	5.63	128.41	138.79	10.68	19.62	20.58	0.96	-	-	7.70	7.70	1,015.26	1,040.26	24.07
C地区(十日町川原)	473.71	483.44	10.73	80.55	84.91	4.36	20.42	24.19	3.77	-	-	-	-	577.58	602.51	24.86
D地区(福地地区)	731.59	731.59	0	425.21	708.59	283.35	42.99	198.30	127.00	-	-	50.00	50.00	1,028.61	1,638.96	610.35
計	2,956.39	2,984.95	28.46	666.11	1,061.50	395.39	111.42	283.15	131.79	-	-	57.70	57.70	3,738.92	4,347.20	608.28

(注) 現況：現在農用地区域の面積 目標：おもしろ10年後の農用地区域の面積

計画はもとめられました。

現在、本市の土地利用形態は別表一のように田んぼが二千九百五十六公畧と全体の七九・二%畑が六百六十六公畧、十七・八%と九十七%が農地でしめられています。これらの優良農地を守り生産性の高い農業経営を行なうことによって魅力ある農村づくりを行なっていくとすめるものです。従って、将来宅地化、工業化等が見込まれる地区での農地は極力さけるようにし、今後とも安心して農業を営めるよう対策をたてています。

農用地区域とは……

県知事は今後十年をメドとして農業の振興をはかるべき地域を農振地域に指定しましたが、この範囲のなかに散在している一団地をおおむね二十公畧以上とまっている集団優良農地を「農用地区域」としました。この区域の線引きは土地所有者や関係機関の意見を十分とり入れながら実施しましたが、当市の場合、山間地域でもできるだけ農用地区域とするため、同一水系、同一道路で連絡されている農地全体で二十公畧以上になるところを指定。さらに既成田畑に限らず山林原野であっても、今後農地として活用をはかる地域も指定しました。(略図①②③④⑤の団地が農用地区域です)

今後、決定された農業振興整備計画(以下農振計画)のなかで最も大切なのが農用地利用計画です。この計画のなかに農用地区域とって今後おおむね十年間をメドに農業をやっていく土地をはっきりと定めています。今後は農地専用の農用地区域と農業以外に転用できる非農用地区域に区分され、農用地区

別表2 補助、融資等、優遇措置の主なもの

農用地区域を対象とする事業	農業振興地域を対象とする事業
1. 国の直轄又は補助による事業(県、市も国に準ずる。) (1)土地改良事業 (2)第二次農業構造改善事業 (3)地域特産物農業推進事業 (4)農業機械導入利用総合調整事業等農業機械化の促進に関する事業 (5)高効率集約的生産組織育成対策事業等	1. 農振地域の生活環境の整備に関する事業、農産物の広域的な流通加工の近代化に必要な施設の整備に関する事業、家畜の生産等に関する事業 (1)農村基盤総合整備パイロット事業、農村総合整備モデル事業 (2)自然休養村の整備に係る事業のうち第二次農業構造改善事業として実施するもの (3)農村地域工業導入特別対策事業 (4)広域農業団地総合施設整備事業 (5)農業機械導入に関する事業
2. 融資事業 (1)土地改良資金 (2)農地等取得資金、木草地取得資金 (3)果樹園経営改善資金 (4)総合施設資金のうち(1)(2)及び(3)の資金の融通	2. 融資事業 (1)農林漁業金融公庫資金及び農業近代化資金のうち土地改良資金、農地取得資金、木草地取得資金、果樹園経営資金、総合施設資金を除くもの
3. 税制上の優遇措置 (1)課税所得の特別控除 (2)登録免許税の軽減	

補助融資等の優遇措置があります

国県市の補助融資事業等は農用地区域もしくは農振地域内を対象にの投資が行なわれるほか、税制上からも優遇措置が講じられています。

土地売買は土地利

今後、決定された農業振興整備計画(以下農振計画)のなかで最も大切なのが農用地利用計画です。この計画のなかに農用地区域とって今後おおむね十年間をメドに農業をやっていく土地をはっきりと定めています。今後は農地専用の農用地区域と農業以外に転用できる非農用地区域に区分され、農用地区

お問合わせは……

農振法についてのくわしいことは、市役所農林課(電話三三一一番)へお問い合わせください。

市民憲章を公募

市民憲章制定審議会(山内正豊会長)は、広く市民の英知を求めようと市民憲章を公募することにいたしました。六月中旬に市政事務嘱託員を通じ要項を配布しますので、ふるってご応募ください。

選挙の投票期を明瞭にする

4月21日新潟県知事選挙
開票風景



参院選挙の投票日は七月七日。これからのわたくしたちの暮らしがこの国政によって左右されるわけだから、わたくしたちの持つ一票は自己の信念と信頼によって行使したいもの。

投票日は七月七日

第十回参議院議員通常選挙

参議院議員通常選挙は六月二十四日公示、投票日は七月七日の予定です。

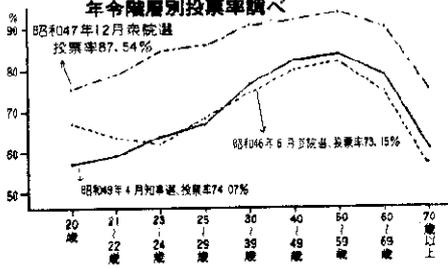
選挙はわたしたちの意思を政治に反映させ、また政治に代表者を通じて参加する手段。選挙の正しいルールを守りながら、

明るい選挙で自分の一票を十分に考え抜いたうえで投票してほしいものです。

■投票できる人

満二十歳以上の日本国民は選挙権がありますが、住民基本台帳に記載されていないと投票できません。また他市町村から転入して三カ月未満な人は前住所地の市町村区域で投票することになります。

■投票の時間



午前七時から午後七時まで予定されていますが、繰り上げ投票するところもありますので、入場券に書いてある時間内に済ませてください。

■不在者投票など

投票日の当日やむを得ない用務や旅行等で投票所へ行けない人は不在者投票ができます。

六月十九日に市制施行二十周年記念植樹

南沢団地に杉苗七千五百本

ことしは、いくつかの市制二十周年記念事業、行事が計画されていますが、そのひとつとして六月十九日記念植樹が行なわれます。植樹する場所は市有林南沢団地(八雲地区)で二・五畝の面積に杉苗七千五百本を植える計画です。二十周年記念として市有林に植樹することは、市の基本財産を造成することでもあり、さらに地域の造林推進にもつながるため、市農林課では、立派な模範林にしたいと準備に入っています。

当日は、市内の関係者と管内小中学校の児童生徒代表など約百二十人が参加します。午前中は市制施行十周年記念植樹林二瓶団地(笠置地区)を視察、植樹式は午後一時から南沢団地で

(印鑑を持参)・不在者投票は公示の日から七月六日まで毎日午前八時三十分から午後五時まで市役所三階の選挙事務室で受け付けています。そのほか、代理投票や点字投票もできます。選挙についてのお問い合わせは市役所三階の選挙事務室まで。(電話)三二二一番、有放五二五一番)

●参議院新潟県選出議員選挙立合演説会

とき 六月三十日午後七時
ところ 市民体育館

南沢団地は、峠形山西側斜面に位置しており、すぐ近くに魚沼スカイラインがカーブをえがき極めてちょう望のよい所です。南沢団地約八十六畝のうち、既に六・五畝が植林されています。

「きり」と「山つじ」を無償配布

市制施行二十周年記念に

市では、このほど市制施行二十周年を記念して市の木「きり」と市の花「山つじ」の苗木をどちらか一本各家庭に無償配布します。

市民のみさんからご協力いただき、市の木、市の花をもっともっとふやしたいと思いを植える場所は、ご家庭の庭や空地などで結構です。近く市政事務嘱託員さんを通じ承をお願いします。

限りある資源を大切に

水道水は、わたしたちの健康を守り、伝染病を予防し、消火や台所の清潔化など日常生活のあらゆる面で大切な役目を果たしています。

十日町市の水道も、きれいで豊かな水を送りつけて満16年目をむかえました。

給水人口も、市勢の発展とともに拡大し上水道と簡易水道あわせて41,491人となり、普及率は全人口に対して82.5%に達しました。

みなさんの家庭でご利用いただく水道水は、配水管建設工事や修繕工事、製造経費の増大などで1年間におよそ2億500万円の費用がかかります。これからも、みなさんの水道を大切に見守り、はげましていただきたいと思います。

十日町市の水道は年2回ピークがあります

一日の給水量しらべ (上水道)

月	47年度 (1億3千万)	48年度 (1億4千万)	49年度 (1億5千万)
4月	11,000	11,000	11,000
5月	11,000	11,000	11,000
6月	11,000	11,000	11,000
7月	11,000	11,000	11,000
8月	11,000	11,000	11,000
9月	11,000	11,000	11,000
10月	11,000	11,000	11,000
11月	11,000	11,000	11,000
12月	11,000	11,000	11,000
1月	11,000	11,000	11,000
2月	11,000	11,000	11,000
3月	11,000	11,000	11,000



